

# 写真を用いた スーパークールビズに関する研究

～ピクチャマイニング手法の確立を目指して～

山崎 匡（株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント）

落原大治（株式会社サーベイリサーチセンター）

廣井 悠（東京大学）

江戸克栄（文化学園大学）

# 研究目的

マーケティングリサーチの一手法としてピクチャマイニングを体系化し、分析手法を確立するため、その方法論を探索・整理する。

具体的には、利用目的に応じて適切なサンプリング方法はなにか、データ収集方法の留意点にはどのようなものがあるかという点について明らかにする。

# 研究課題

2

①

実施目的による対象の分類と方法論の確立

②

分類別の  
最適なサンプリング方法

③

分類別の  
データ収集方法の  
特性把握

④

分類別の  
分析方法の検討

# 調査の全体像（分類）

		コンテンツ（撮影対象）				
		バシヨ	ヒト	モノ		
コンテンツ （撮影意図）	なし／不要	リサーチ①			なしの特徴 コンテンツ	共通点・相違点、留意点 コンテンツの有無による
		今住んでいる 街並み	隣に座っている 人（男性）の クールビズ	家から最も近いコンビニ のスイーツ棚の 上から2段目右から3番 目のスイーツ 一番下の棚の左隅のス イーツ		
	あり／必要	リサーチ②			ありの特徴 コンテンツ	
		老人になったら 住みたい街並み	カッコ良い クールビズ	太りそうだと思う スイーツ&食べた スイーツ		
		バシヨの特徴	ヒトの特徴	モノの特徴		

撮影対象(バシヨ・ヒト・モノ)による共通点・相違点、留意点

# 撮影対象の指示（ヒト）

## リサーチ① 【コンテクストなし】

## リサーチ② 【コンテクストあり】

撮影対象

服装

■隣に座っている人のクールビズ

- ・撮影枚数 1枚
- ・隣がない場合は次に近い人
- ・首から足まで全身を撮影、顔は写さない

■カッコ良いクールビズ

- ・撮影枚数 1枚
- ・首から足まで全身を撮影、顔は写さない

# 撮影対象の指示（補足）

## 撮影例



# 調査設計

リサーチ①  
【コンテキストなし】

リサーチ②  
【コンテキストあり】

調査方法	モバイル調査（リクルートソース：WEBモニター）	
対象者	20代～50代の女性個人／有職者／23区内居住者	
撮影テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街並み       ： 1枚</li> <li>・ 服装         ： 1枚</li> <li>・ スイーツ    ： 2枚</li> </ul> <p>※ 1対象者3テーマ（4枚）を撮影</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街並み       ： 1枚</li> <li>・ 服装         ： 1枚</li> <li>・ スイーツ    ： 2枚</li> </ul> <p>※ 1対象者3テーマ（4枚）を撮影</p>

# 調査結果

## リサーチ① 【コンテキストなし】

## リサーチ② 【コンテキストあり】

合計 34 (60) s、  
136 (240) 枚  
カッコ内は割付数

合計 37 (60) s、  
148 (240) 枚  
カッコ内は割付数

サンプル  
デザイン  
撮影枚数

		20代	30代	40代	50代
サンプル数		6s	9s	12s	10s
撮影枚数	一人当たり	4枚	4枚	4枚	4枚
	合計	24枚	36枚	48枚	40枚

		20代	30代	40代	50代
サンプル数		10s	8s	8s	8s
撮影枚数	一人当たり	4枚	4枚	4枚	4枚
	合計	40枚	32枚	32枚	32枚

※撮影枚数は分析対象外も含む回収総数

※撮影枚数は分析対象外も含む回収総数



# 調査結果（一部）

## リサーチ① 【コンテクストなし：隣の人クールビズ】

撮影例



# 調査結果（一部）

## リサーチ② 【コンテクストあり：カッコいいクールビズ】

撮影例



# 結果分析

	意図／検証・確認ポイント	結果
n 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1テーマでの枚数の妥当性 〔対象物に応じた適度な枚数〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析可能な写真は→ Cなし：28枚/ Cあり：22枚</li> <li>※設計を下回る。3テーマ同時撮影は負担が大きい？</li> <li>年代別のカッコ良さは分析に足るサンプルなし</li> </ul>
角度	<ul style="list-style-type: none"> <li>首から下という指示に対する撮影の傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>首から下の指示は守られている</li> <li>対象者が切れている（14件）、正対していない（8件）、座っている（3件）など指示に合わない写真を撮影するケースも目立つ</li> <li>階段で下から撮影するなど、仰角俯角の概念も指示が必要</li> <li>顔が見えないことのメリット、デメリット</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような角度で撮影されるか 〔テーマや指示の出し方による傾向〕</li> </ul>	

# 結果分析

	意図／検証・確認ポイント	結果
一緒に写るもの／撮影場所	・ 職場で撮影してもらう	・ 屋外や職場の入るビル内で撮影するケースも。難しさの一因に？
	・ 背景や一緒に写るものをどう位置付けるか 〔テーマや指示の出し方による傾向、分析や解釈への影響〕	・ 机が写っているのは14件、ネクストラップは5件 →カッコ良い写真は背景も活用している（観葉植物など）
写真に占める対象物の大きさ	・ 全体に占める対象物の割合 〔対象物の大きさを揃える必要がある場合の留意点〕	・ 大きさはほぼ揃っており、分析する上での不備は見られない。
コンテキストの有無	・ 「カッコ良さ」の構成要素（体型・色・洋服）	・ 細かいこと（体型、服のスタイル）等・・・（詳細別途）
	・ コンテキストの有無によってどのような違いがみられるか（スタイル、色合い、大きさ、ジャンル等） 〔コンテキストの有無による写真の特徴、撮影指示の出し方による写真の傾向〕	・ 「あり」の写真の枚数が「なし」より少ない ※撮影の難しさ？ ・ 20代の被撮影者が多い（なし 4名⇔あり 11名） →カッコ良いのは若者？ 50代の着こなしは？

# 結果分析

	意図／検証・確認ポイント	結果（9/7実施）
撮影時間帯 （タイミング）	撮影される時間帯の傾向 〔撮影時間帯が写真に影響を与える可能性がある場合の指示の与え方〕	・ 時間帯は不明。
撮影指示	・ 被写体は立った状態で撮影	・ 座っての撮影も若干見られる ※指示写真の枚数不足？
分析内容	・ 洋服の色、上着の形・種類、襟の形等 ・ 被写体との関係性	・ 洋服の種類（ポロ、流行のテイスト・・・）、組み合わせ、色、パンツにも着目

# 結果まとめ

## 【コンテキストなし】

センスが悪い  
だらしない  
(そもそもbizではない人も  
)

## 【コンテキストあり】

カジュアルに見える  
ポロシャツが目立つ  
特にカッコ良いのは・・・  
立ち方(見せ方)を知っ  
ている人  
身長170cm以上  
の人

第一印象は・・・

相対的な”カッコ良さ“の要素は？

# 結果まとめ

そう見える理由は・・・

## 洋服要因

しわ・折り目・パンツ丈・袖丈・ベルト  
・アクセサリ(バッグ/靴/時計等)  
・流行の取り入れ具合(ex.ネクタイの必要の無いシャツ)

## スタイル要因

体型が・・・ スリム・標準・肥満体  
服が体型に・・・ 合っている・合っていない

## 属性(環境)要因

職業・職種、撮影タイミング(朝・夕)、カメラ性能(習熟度)、

## その他要因

顔が切れていることの影響  
撮影者のセンス

課題: 文字には表せない“カッコ良さ”の抽出

# (資料) 服装：サンプル数

	撮影者の年代			
	20代	30代	40代	50代
コンテキストなし n=37	6	9	12	10
うち分析対象 n=28	5	7	8	8
コンテキストあり n=34	10	8	8	8
うち分析対象 n=22	8	6	5	3

	被撮影者の年代				
	20代	30代	40代	50代	60代
コンテキストなし n=37	6	4	11	10	6
うち分析対象 n=28	4	4	9	7	4
コンテキストあり n=34	13	7	10	3	1
うち分析対象 n=22	11	3	8	0	0